

のと鉄道株式会社との地域の課題解決に向けた連携事業（経済経営学部マネジメント学科）
「のと鉄道観光列車における個人客の利用促進」に係る目標設定・評価体制等について

●次の a から d についてサイクルを構造化する。

a 地域の課題を認識し、その課題解決に向けた目標設定

のと鉄道が運行する観光列車は個人客の利用数が減少しており、個人客に向けた情報発信が課題となっている。昨年度は従来のメディア（プロモーション動画など）よりも豊富な情報が提供できると考えられる観光列車の VR 体験システム（プロトタイプ版）を開発した。今年度は情報の豊富さだけでなく、「そこにいる感覚（没入感）」を抱かせるようシステムの改良を行う。また、昨年度に提案した本システムを用いたプロモーション案の実施を目指す。これらに加え、本システムの有効性とプロモーション案に関する学術的な調査を行い、今後の意思決定に資するエビデンスを残す。具体的な目標は以下のとおり。

< 定量的目標 >

- ・開発したシステムを Oculus ストアやメタバース・プラットフォームといった場所に 1 か所以上公開する。
- ・プロモーション案の実践を 1 回以上行う。
- ・本システムと現在の情報提供手段の比較調査とプロモーション案に関する調査をそれぞれ 1 回以上実施する。

< 定性的目標 >

のと鉄道観光列車と開発したシステムの利用者に対する理解を深め、没入感のあるシステムを構築する。次に、調査を通じ、本システムと現在の情報提供手段のメリットおよびデメリットを明らかにする。そして、本システムを使ったプロモーション案の強み・弱みを考察し、個人客向けのプロモーションのあり方を提案する。

b 地域へのフィードバック体制

改良した VR 体験システムや個人客向けのプロモーション等の取材・調査した内容を、のと鉄道に確認してもらい、意見を求める。VR 体験システムは共有サイトにて公開し、利用者と事業者の意見交換の場として活用する。

c 評価体制

年度末に、事業の評価に関する会議を開催し、評価を受ける。その評価内容をもとに次年度の活動内容の見直しを行う体制とする。

d 継続的な協議の実施

年間の活動計画をたて、定期的に協議を行う。

●令和 5 年度中に、以下の a から c の内容を含めて公表する。

a 事業概要と連携企業の組織名称

大学ホームページに事業の概要及び組織名称を掲載する。

b 地域の課題、その課題解決に向けて設定した目標

大学ホームページに地域の課題、及び課題解決に向けて設定した目標を掲載する。

c 課題の解決に向けて実施する取組みの内容

大学ホームページに取組みの内容を掲載する。

以上